



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2002年9月1日発行

たんけん通信

創刊

第1号

「おもしろ科学たんけん工房」のロゴマークと  
名称の字体を決めました。

マークは常に「おもしろ科学たんけん工房」の  
名称とセットで使用

さる8月6日(火) おもしろ科学たんけん工房の運営のため  
の会議(定例会)を開催し、今年度後半の企画実施事項  
の確定や、来年度に向けての方針などについて論議しまし  
たが、その一つとして、ロゴマークと名称字体についても  
決めました。ただこのロゴマークについては?マークの持  
つ「疑問符」としての意味が強すぎて、この会のシンボル  
マークとしては必ずしも最適ではないというご意見もあり  
ました。したがって会のシンボルとして定着させるには、  
当分の間、つねに名称とセットで使ってゆくこととしまし  
た。上記表題の左側がそのサンプルです。

### 湘南台プロジェクト「ふしぎ発見塾」

後半の企画を確定=10月から~15年3月まで=  
湘南台高校をお借りして実施している“おもしろ科学「ふ  
しぎ発見塾」”の下半期の企画テーマと実施予定日を、確定  
しました。

- ⑦ 10月19日(土) 紙ヒコーキを作って飛ばそう  
主任指導員 郷 勝哉(正会員)
- ⑧ 11月16日(土) 草木染めに挑戦しよう  
主任指導員 大久保 利江(登録サポーター)
- ⑨ 12月14日(土) 牛乳パックで紙スキに挑戦  
主任指導員 五島 研悟  
(グリーンアスパラ・パックの会)
- ⑩ 1月18日(土) 鉱石ラジオを作ろう  
主任指導員 郷 勝哉(正会員)
- ⑪ 2月8日(土) 砂糖水で光の色を分けよう  
主任指導員 福田 光和(正会員)
- ⑫ 3月(未確定 春休みを予定) 8月予定分の振替え  
竹とんぼを作ってあそぼう  
主任指導員 柴田 憲男(正会員)

\* 第6回 8月17日(土)に予定していた「竹とんぼを作っ  
てあそぼう」は、県立教育センターのサマーイベントと  
重なったため、15年3月に延期しています。

鶴洋児童館受託プログラム 第2回は

9月21日(土)1時半「電池を作ろう」

主任指導員 相川 正光(正会員) で行ないます。

### 戸塚プロジェクト 「おもしろ理科・工作塾」 実施スケジュール(一般公表済み)

(財)横浜女性協会の、市民活動支援助成制度を受けて実施して  
いる、「おもしろ理科・工作塾」は、7月からスタートしましたが、  
9月以降のスケジュールは下記のとおりです。

実施場所=横浜女性フォーラム(戸塚) 「生活工房」他

- ③ 9月28日(土) 紙コップでスピーカーを作ろう  
主任指導員 柴田 憲男(正会員)
- ④ 10月20日(日) 竹とんぼを作ってあそぼう  
主任指導員 柴田 憲男(正会員)  
この日は、横浜女性フォーラムの行事【フォーラムまつり】  
に参加する形になります。
- ⑤ 11月9日(土) 牛乳パックで紙スキに挑戦  
主任指導員 五島 研悟  
(グリーンアスパラ・パックの会)
- ⑥ 12月15日(土) 紙ヒコーキを作って飛ばそう  
主任指導員 郷 勝哉(正会員)
- ⑦ 1月12日(日) 草木染めに挑戦しよう  
主任指導員 菅沼 恵子(湘北短大教授)
- ⑧ 2月15日(土) たこ坊主と海坊主の浮き沈み  
主任指導員 小野 哲夫(電力研究所研究員)
- ⑨ 3月15日(土) 鉱石ラジオを作ろう  
主任指導員 郷 勝哉(正会員)

### 好評だった「セミのぬけがら調査」

新林公園で7月27日(日)実施

<セミのぬけがら鑑定士>の認定証をもらって  
みんな大喜びでした

湘南台プロジェクトの第4回は、宮地俊作さん(正会員)が主任指  
導員で、7月27日(土)に実施しました。当初は湘南台近隣の公  
園を想定していましたが、藤沢市奥田の新林公園の方が、深い自  
然が残っているということで、場所を変更して参加者を募集しま  
した。

そのためか、湘南台中心の各学校からの参加者では、定員に満た  
ず、急遽、新林小・片瀬小・鶴洋小に依頼して追加募集をしまし  
た。結果 25名の参加を得て実施できました。

なにしろ天候に左右されるフィールドワークなので、心配しま  
したが、幸い梅雨明け後の暑い日がつづき、セミのぬけがらも、  
予想以上にたくさん採集できました。

たんけん通信は今後3ヶ月に1回のペースで発行する予定です

湘南台プロジェクト 応募～参加状況と、アンケートにみる参加者の満足度

実施日	① 4月20日				② 5月18日				③ 6月15日				④ 7月27日				計
テーマ	電池をつくってみよう				ペットボトルで浮沈子の実験など				紙コップでスピーカーを作ってみよう				セミのぬけがら調査(新林公園)				4回
募集定員	児童生徒 20人				20人→30人に増				30人				30人				
選択方法	申込み先着順				申込み先着順				抽選				結果として無抽選				
人数区分	応募	受付	出席	欠席	応募	受付	出席	欠席	応募	受付	出席	欠席	応募	受付	出席	欠席	
湘南台近隣小学校*1	23	18	17	1	38	28	23	5	36	29	29	0	13	13	11	2	80
市内他地域小学校*2													13	13	11	2	11
市内中学校*3					1	1	1	0	1	1	1	0					2
藤沢市内計	23	18	17	1	39	29	24	5	37	30	30	0	26	26	22	4	93
市外 小学校*4	3	3	3	0	3	2	2	0	5	3	3	0	1	1	1	0	9
市外 中学校*5	1	1	0	1									2	2	2	0	2
総合計	27	22	20	2	42	31	26	5	42	33	33	0	29	29	25	4	104

\*1：1人以上の出席のあった小学校名＝秋葉台、長後、富士見台、湘南台、六会、天神、亀井野、石川、善行の9校

\*2：腰越、片瀬、新林、鵠洋の4校

\*3：六会中

\*4：(茅ヶ崎)松林小、(横浜)緑園東小、二ツ橋小、東汲沢小、新橋小、西本郷小

\*5：(横浜)丸山台中、南戸塚中

児童・生徒 アンケートから

●「参加してみてどうでしたか？」 いくつでも〇 (重複回答項目)

	①4月	②5月	③6月	④7月
回答総数	20	25	31	23
おもしろかった(とても+ちょっと)	10	20	18	19
たのしかった	9	10	11	6
いままでふしぎにおもっていたことが良くわかった	11	2	1	
参加してよかった				11
あんまりおもしろくなかった				0
つまらなかった				0
ちょっとむずかしかった	1	1	4	2
おもっていたことと少し違った				2

●「また参加してみたいですか？」 一つだけ〇

	①4月	②5月	③6月	④7月
はい	15	23	26	14
いいえ	1	0	1	1
わからない、どちらともいえない	4	2	4	8

保護者へのアンケートから

◎今回の催しにあたってお子様の意欲はどうでしたか？

	①4月	②5月	③6月	④7月
子どもの方が積極的に参加を希望した	4	6	12	5
子どもも親もともに積極的に参加したいと思った	5	8	7	4
親の方から参加を勧めた。	5	7	6	5

コメント：

大方の子どもは満足

設問が、4回にわたって必ずしも共通ではないので、各回の比較はできないが、何れの回でもポジティブな反応がほぼ90%出ていると判断できる。

「また参加したいか？」という質問はややあいまいなので、④のセミのぬけがら調査のアンケートでは「どちらともいえない(やる内容による)」という回答項目を設定したところ、この項目提示があるために、それに〇をつけた子が多く出たと思われる。

強制された子どもは不満足

参加の動機を聞いた質問と照合してみると、親に強制されて参加したと見られる子どもは、明らかにネガティブな反応を示している。

おもしろく、楽しく体験を通じて科学に親しむという工房の目的は、ほぼ達成しているとみた。

全体として親主導

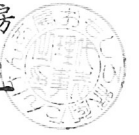
参観した保護者へのアンケートなので、偏りは免れないが、親の積極的な関与があって、これだけの参加者数を実現している事実は無視できない。

自由記述でも親の期待は大きいことが窺える。折角足を運んだ子どもが、どれだけ継続して、理科への興味を持続させられるか？これからの勝負であろう。

正会員、賛助会員、サポーター、その他協力者各位

特定非営利活動法人 おもしろ科学たんけん工房

代表理事 安田光一



### 「たんけん通信」発刊のこと

日頃にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

おもしろ科学たんけん工房が、法人として正式に発足して、まもなく半年になろうとしております。

理科好きの子どもを育てたいという願いを、子どもたちのための「おもしろ科学体験ワークショップ」の形で実現しようと、昨年来奮闘して参りましたが、お蔭様で、まず湘南台高校を舞台として4月20日から「おもしろ科学「ふしぎ発見塾」」と名付けたワークショップを開催することができました。

さらに戸塚にある「横浜女性フォーラム」の支援を受けて、同施設を会場にして7月から、「おもしろ理科・工作塾」と名付けたワークショップをスタート。

それぞれ、月1回のペースで、開いて居ります。

これが可能になったのも多くの方々のご厚意と、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この間、正会員、賛助会員、登録サポーター、その他様々な形で、おもしろ科学たんけん工房の事業にご協力いただける方がた、あるいは、深い関心をお持ち下さる方も次第に広がり、合わせると50人を超えるほどになりました。

日常の運営と事業（イベント、ワークショップ）に、指導員やアシスタントとして関わる実務スタッフも、ようやく10人を超えました。

そこで、関連する協力者の皆様に、おもしろ科学たんけん工房が行なっている様々な活動状況のお知らせや、活動に対する参加者の反応といった情報や、活動メンバーの紹介などを行なってゆくべく、さきやかながらニューズレターを発行することにしました。題して「たんけん通信」としました。

その創刊号をお届け申し上げます。

今後、年4回のペースで発行してゆく予定で居ります。

皆様のご批判、ご鞭撻の声をぜひお寄せいただきたくお願い申し上げます。

ゆくゆくは、更に広い範囲の方々への広報を兼ねた機関紙のようなものにしてゆく所存ですが、当面はやや内輪の情報共有化を主目的とした編集になります。

発行のタイミングは、3月1日、6月1日、9月1日、12月1日を予定しております。

なお、近々実施予定のワークショップ9月28日（戸塚）、10月19日（湘南台）、10月20日（戸塚）につき、参加者募集案内(チラシ)を同封申し上げます。